

# 盛大に臨時総会・法人化に



▲来賓祝辞に耳を傾ける会員

市民の期待を乗せて！  
 去る三月四日、玉城中央公民館大ホールにて一般社団法人化のための臨時総会が開催され、新年度（四月一日）を期して「一般社団法人南城市シルバー人材センター」として生まれ変わる事が決まりました。  
 当日は、多くの会員が出席しお祝いムードが漂う中、古謝景春南城市長をはじめ、国の機関から沖縄労働局職業安定部長富永哲史様、沖縄県から県観光商工部長仲田秀光様、社団法人沖縄県シルバー人材センター連合の嘉陽榮憲会長及び川平善範南城市議会議長の皆様から激励を込めた暖かいお祝いのお言葉を頂戴いたしました。また、当日



▲紹介される新しい理事の皆さん

は、遠くは宮古島シルバー人材センター、名護市シルバー人材センター等、私たちの仲間である全県の各シルバー人材センターの理事長、事務局長、事務局職員の方々がご出席下さりお祝いの言葉を頂きました。  
 当日の総会は、私たち会員が会員による会員のための手作りの総会でありました。  
 松本順一会員の司会進行と、古謝景進理事の開会宣言により会が開きました。大湾理事長の挨拶の後、来賓挨拶があり、その後議案審議に移りました。  
 満場一致で議長団に選出された知念幸雄（前半）、知念和幸（後半）両議長が席につき自己紹介した後、審査に入る前に資格審査報告を事務局に求め、知念事務局長が報告、定款十八条

## 会員さん登場



松本 順一  
 （玉城）

の規程により総会は成立しました。引き続き経過報告が行われ、議案審議に移りました。  
 二人の名議長のリードで一号議案から十一号議案まで慎重審議の結果、全て満場一致で採択されました。  
 議長団降壇後、総会を五分間休憩し、定款第三十二条三項に基づき新しく選任された理事で理事会を開き役員を選任を行い、次の通り決定報告されました。「理事長大湾政松・副理事長古謝景進・常務理事知念進」  
 午後五時五分松本理事の開会宣言で臨時総会を閉じました。  
 懇親会は、古謝景進副理事長の乾杯の音頭で始まり、会員の皆様と新垣盛達民謡研究所の民謡ショーで舞台を盛り上げながら懇親を深めました。

## 仕事百景



▲洗車に励む会員さんたち

与那原自動車整備センター  
 与那原自動車整備センターでワキアイアイと洗車の就業に励む会員の皆さん、本土から送られてきた中古車を、慣れた手つきで隅々まで綺麗に洗車、ピカピカに仕上げる「技」は将に一級品です。  
 与那原自動車整備センターの皆様は大変重宝がられています。

シルバー人材センターと、「疲れたけど楽しかった」に入会して、まず良かった、また就業したいな。といったことは、就業で体をとります。動かしことよって、入会まよより元気がでた達や、会員の皆さんということ。いろいろな場面で親睦を深めまた、就業は難儀とながら、楽しく元気に就業きもありますが、就業をできたらいいな。と思いきも終えた後の気持ちよさ。や、依頼主の喜ぶ顔を見

### 旅立ちの心構え

いよいよ明日は旅立ちであります。四月一日を期して「一般社団法人南城市シルバー人材センター」と言う法人（会社）に組織変えになります。これまでは任意団体で、市当局におんぶに抱っこでありましたが、これからは独立した組織（会社）として義務と責任を自覚し、自立すべく努力しなければなりません。

私たち会員（社員）は、多くの南城市民の期待にこたえるべく、切磋琢磨して就業に取り組み、常に自主・自立・共働・共助の理念の下、地域社会に奉仕をする精神を堅持しなければなりません。

私たち会員（社員）は、見積から就業完了引き渡しまで責任を持って履行する、又、仕事は最後の仕上げが大切であり、作業後の清掃を言われなくても行うのが常識であります。

共に働き、共に助け合う心を持ち「誰かがやるだろう」ではなく、自ら率先して、就業を楽しく明らかに、心身共に健康を保持し、会員相互の融和と協調のところで社会に奉仕し、友情の輪を広げると共に、市民から愛されるシルバー人材センターを、みんなの力で実現したいものであります。  
 （知念）

南城市

# シルバー人材センター

通信  
 第11号

平成21年  
 3月25日発行

編集発行  
 南城市シルバー  
 人材センター  
 TEL098-852-6655

会員数  
 （3月1日現在）

138人

受注件数  
 （2月分）

23件

受注金額  
 （2月分）

1,850,861 円

就業人日  
 （2月分）

284 人日